



▲「美誉の松」(みよのまつ)樹齢400年を超えるシンボルツリー



左上：スイレン

左下：ツツジ 右：フジ

合浦公園は、青森県の花見の名所の1つとして有名ですが、桜の後もツツジやフジ、スイレンなど季節の花を見ることができ、夏には海水浴が楽しめる海浜公園です。園内にはSLの展示や小さい動物園もあります。

1881年、元弘前藩士の水原衛作が有志と共に認可を受けたことに始まり、当時の公園制度によってできた公園は大都市の神社境内や城跡にできたものが多くありましたが、現在公園内にある「美誉の松」と旧奥州街道が通っていたことから認可があり、造成が始められました。水原衛作は公園の完成を見ることなくこの世を去ってしまいましたが、事業を引き継いだ弟の柿崎巳十郎が1894年に、約10年以上をかけて完成させ青森市に寄付しました。

たんさく 青森市 合浦公園



◀施設へ提供される農産物
当日は、施設から農産物の受け取りに来る日だったので、2022年度、初めての提供を受ける団体もいることから、受け取りを実際に見てもらっていました



5月30日(月)に、受け取り方法の確認などの確認をしました。

2022年も継続して フードバンク事業を通じ、 社会福祉法人への 農産物の提供を行います。

コープあおもりでは、コープフードバンク事業の一環として2019年度から、青森県社会福祉協議会と連携し、浪岡物流センターで商品セット時に発生した、品質には何ら問題がないにも関わらず、これまで廃棄せざるをえなかった農産物を周辺の社会福祉法人へ提供する取り組みを行っています。2022年度は15団体へ農産物の提供が行われます。

コープ東北フードバンクって？

食品の無駄をなくすとともに誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを進めることを目的としています。2012年にコープ東北が設立しました。

2021年度はコープ東北フードバンクから、農産物提供以外にも、51回、総重量3,336kgの提供がありました。提供された物品は、青森県社会福祉協議会から、各市町村の社会福祉協議会を通して187件食料品、日用雑貨品が社会福祉施設に配られました。

4・6・8・10・12月の
「1日」は
コープあおもりフードサポート
の特設コーナーを
各店舗に設置しています。



お店で購入した商品を寄付できる コープあおもりフードサポートを 開始しました。

6月1日(水)にコープあおもり各店舗で、コープあおもりフードサポートの取り組みがスタートしました。

コープあおもりフードサポートは、コープあおもりの店舗で購入して頂いた商品を店内に設置した専用ボックスに入れることで寄付できる取り組みです。寄付された商品はコープあおもりから、青森県社会福祉協議会へ提供され、社会福祉施設や団体へ寄贈されます。

当日、各地域の委員の皆さんを中心に取り組みのお知らせをし、買い物済ませた方がボックスの中へ購入した商品を寄付していただきました。ご協力いただいた皆様ありがとうございます。

コープあおもりフードサポートは偶数月の1日にコープあおもり各店舗で実施しています。次回は8月1日(月)に各店舗で開催を予定しておりますので、ご協力をお待ちしております。

